

表-1 東海市におけるひきこもり支援の現状

	相談支援		居場所	進路・就労支援	啓発	連携・協働	その他
	本人支援	家族支援					
保健所	H18.7.1より精神保健福祉相談に「ひきこもり」相談が位置づけられる。 H19.4.1よりメンタルヘルス相談として、うつ・自殺と並びひきこもり相談が位置づけられる。相談は多くの場合は親(家族)相談であり、年間10件程度(実数)である。訪問支援も行っている。		障害者支援としての月に1回社会復帰教室「みどり会」を開催している。	通院患者リハビリテーション事業はひきこもり当事者も利用可能になっている。愛知県独自事業(県単事業)。	知多保健所管内の広域を対象とした研修会を年2回実施。	ひきこもり支援ネットワーク会議。知多市社会福祉協議会、東海市、東海市社会福祉協議会の会議・委員会に出席。	
教育委員会	教師、スクールカウンセラー、青少年センターが個別に本人と親の相談に応じている。青少年センターは29歳までの相談には応じている。本人支援のためにメンタルフレンドの派遣を行っている。		ほっと東海(適応指導教室)。担任教師が生徒が下校した後の夕方から夜にかけて、登校を希望する生徒に学校で対応している(教師のボランティア活動という性格)。	教師が家庭訪問で生徒本人の希望と意向を把握した上で、個別に進路指導と支援を行っている。校長会と教育委員会の共催で進路ガイダンス会を実施。	教師が生徒へ個別に情報提供を行っている。	個別に、児童相談所・家庭相談員・医療機関と連携をとっている。不登校対策会議へ参加。2週間に1回のスクールカウンセラー会議で情報の共有化。本委員会に参加。	不登校児童生徒を対象としたキャンプを実施。
保健福祉課	スクールカウンセラーからの情報提供により発達障害の相談を実施。健診あるいは家庭訪問のなかで把握した場合は、親を対象とした子育て支援を実施。				学校と協力して自己肯定感を育む事業を実施。	個別に関係機関と連携をとっている。不登校対策会議、本委員会に参加。	
子育て支援課	家庭相談室で扱う不登校相談等は関係機関とチームをつくり役割分担をして取り組んでいる。					不登校対策会議、本委員会に参加。	
社会福祉課	直接的な相談はしていない。第一発見の場合は障がい者総合支援センターへ紹介する。主に、障がい者総合支援センターに相談事業を委託している。家庭相談室で扱う不登校相談等は関係機関とチームをつくり役割分担をして取り組んでいる。					個別に関係機関と協議。本委員会の主管課。	
社会福祉協議会	オレンジの会の協力を得て月1回の相談。月に1回社会福祉協議会独自で相談日を設定。支援は相談から始まるが、相談のその後の行方を考えたとき、社協だけでは担えない。長期間をフォローできる統括セッションがない。	家族相談を継続して実施。家族相談から本人へ手紙を送付する支援に展開することもある。居場所へ来ている本人の親たちとひきこもり相談に来所した親たちを対象にH19年度から家族教室(年6回)を開催。グループ支援としては、居場所へ参加している親の情報交換と家族教室を開催している。	H19年度より毎週1回水曜日の午後にあわせ村で本人グループを開催。毎回3名程度の参加。H19年度より1回、ひきこもり親子の日帰り交流会のバス・ハイクを実施。	本人の要求にマッチする就労先がない。本人の要求と現実とのギャップを埋めることが難しい。	年に1~2回のセミナーやシンポジウムを開催して、ひきこもりの情報提供をしている。セミナーの報告は社会福祉協議会の広報紙に掲載して周知を図っている	市外NPOと相談事業を中心に連携・協働に取り組む。本委員会の事務局機能を担っている。	
NPO団体							
民生委員・児童委員						不登校の情報把握や情報交換を学校との懇談会で行っている。また地域・学校連携のモデル事業を実施している。	
障がい者総合支援センター	ひきこもっている本人に直接会うことはまれ。本人支援の実践例がほとんどない。	明らかに精神疾患があると思われる結果としてひきこもっているという相談は少ない。家族を支えるために定期面談を実施すること、必要な医療につなげるための「根回し」をいねいに実施している。	社会的ひきこもりの人たちに扉を開くことへの委託元(市町)との合意ができていない。精神の病気があり、治療を受けている人たちへの門戸は開放されているが、単に居場所機能だけでなく、そこに「聞く人」がきちんと存在することが望まれているのだと認識している。	就労支援につながるステップが必要だと認識しているが、現時点では障がい者を対象にした支援で手一杯である。		本委員会へ参加。疾病・障害の可能性のある人を世帯に抱えている人たちを知る支援者など、多方面からの連携・協働の提案は多い。いずれもアセスメントのし直しを必要とすることが多い。	